

一般質問

公共施設白書の作成について

Q 現在、多くの自治体で共通している課題の一つとして、公共施設の維持・管理や修繕・建て替え等、厳しい財政状況の中でどのように進めるのか苦慮しています。

その対策の一つとして、「公共施設白書」を作成し、公共施設のあり方や整備の順位を決定している自治体があり、本市も同様な課題を抱えている状況であり、有効な手段であると考えますが市の考えは？

A 本市の公共施設は昭和47年の市制施行の前後10年間に大規模な整備が集中しており、「施設の計画的・効率的な改修・修繕」が重要と認識している。

しかし、「施設白書」の作成の早期対応は難しい状況。今後は、施設の整備状況や維持管理経費などの整理に研究していく。

●和宏の考え・意見

再質問では、施設の延命策のために、事前に修繕箇所を把握して優先的に修繕する方法などを提案しました。

就学指定校変更制度について

Q 本市の中学校区の学区は、地域の区割りによって指定されています。近年は就学指定校の変更については「弾力的に」という形で認めてきました。しかし、ここ数年、一部の学校に多数の生徒が学区外から転入するケースがあり、就学指導の面からも少なからず影響があると感じています。この点について教育委員会として、この現状は

どう感じているか？また今後、何らかの措置を講じる考えはあるのかお尋ねします。

本市では、いじめ等への対応、通学の利便性など地理的な理由等で、就学指定校の変更を認めている状況、今後も現行の就学指定校変更制度を維持する考えです。

学校名	転入者数	転出者数	差引	八潮中	大原中	八條中	八幡中	潮止中
八潮中学校	20	73	△53		21	4	47	1
大原中学校	39	14	25	7			1	6
八條中学校	4	24	△20	9			15	
八幡中学校	63	2	61	2				
潮止中学校	7	20	△13	2	18			
合計	133	133	0	20	39	4	63	7

今年度の状況(3月現在)

●和宏の考え・意見

答弁では、現行制度を維持とのことでしたが、教育現場では少なからず課題が生じていると聞いています。教育委員会として今後は、生徒、保護者の立場だけ尊重するのではなく、両者の意向を聞く必要があると考えます。

5歳児健診の実施について

Q 発達障害の早期支援対策の一環として、通称「5歳児検診」を実施している自治体があります。検診を実施することにより6歳時の就学をスムーズに移行する有効な手段の一つであると考えますが、今後の本市の取り組みについてお尋ねします。

A 制度の必要性は認識していますが、実施する場合のスタッフや療育体制の整備等に課題がある。今後は現在実施している健康診査を充実、健診後の相談事業の支援体制を強化して対応する。

●和宏の考え・意見

5歳児健診の実施は費用負担もあり現段階では難しいとの答弁、再質問では早期発見の重要性と療育体制整備の必要性を担当部長へ伝え、今後充実するよう要望しました。

「当地グルメ・B級グルメ」の開発について

Q ここ数年、「ご当地グルメ・B級グルメ」と称した、「まちおこし」の取組みが県内の自治体でもブームとなつています。本市でも特産物や市をPRするため一つの手法として今後、本格的に開発を進めてい

く必要があると考えますが、市の考えをお尋ねします。

A 本市では、商工会が選定した特産品1品、推奨品28品があり、中には市の特産品である小松菜や枝豆を使った「小松菜メンチカツ」や「枝豆もち」「枝豆蒸しパン」があります。

特産品や推奨品の中には、B級グルメにそのままエントリーできそうなものや白玉粉のように、素材として用いてB級グルメの作品を開発できそうなものがある。今後、本市からB級グルメにエントリーできるように調査・研究を進める。

●和宏の考え・意見

全国的にブームの「ご当地グルメ」是非、本市も早急にエントリーが出来るように要望、また花桃まつり等、市のイベント時に「八潮発！ご当地グルメ・B級グルメ大会」の開催を考えてみては？と提案しました。

